



県南広域振興局 環境かわら版

平成26年12月第3号

県南地域の環境活動に取り組む企業、環境団体、行政の情報をお届けします!!

■環境活動に取り組む地域の企業ご紹介

・岩手東芝エレクトロニクス株式会社（北上工業団地）

岩手東芝は1973年より北上市で半導体製造を開始し、現在約900品種の製品を生産しています。主力製品のイメージセンサーはコピー機、ファックス、バーコードリーダーなどの画像を読み込む機器やスマートフォンのカメラ部分に使用されています。他製品も冷蔵庫、エアコンといった白物家電やパソコン、テレビのデジタル機器に加えて自動車、産業向けなど広い分野で使われています。

同社では、「地球は先祖から受け継いだものではなく、子孫からお借りしているものである」との発想に立ち、地球環境を健全な状態で次世代へお返ししていくために、環境への取り組みを経営の最重要課題の一つに位置づけています。

また、1985年に当時、全国初の事例であった行政と企業による公害防止協定を地元、北上市との間で締結し、現在では更に内容を発展させた環境保全協定を結び、コンプライアンスはもとより、各種の環境基準値を遵守しています。日頃の環境活動はISO14001環境マネジメントシステムを柱に東芝グループの一員として日々取り組んでいます。

最近では、生物多様性保全活動にも力を入れており、北上市立博物館の専門家にアドバイスをいただきながら構内に希少植物花壇を造り、オカトラノオ、平地では珍しいニッコウキスゲ等を植えております。その他、周辺生態系とのネットワーク構築として国蝶のオオムラサキを呼び込むため、エゾエノキを植林しています。

社会貢献活動としては、従業員とその家族による市内の清掃活動や植林活動、親子での自然観察会の機会を提供し、地域との共生を目指しています。



輸送用パレット廃材を再利用した
希少植物花壇の掲示板



希少植物のオカトラノオ



花壇造成に当たり、専門家のアドバイスを
いただいています



親子自然観察会「東芝 森の科学探検隊」



講師のプロ・ナチュラリスト、佐々木洋さん

連絡先 TEL：0197-71-3003、URL <http://www.toshiba-iwashiba.co.jp/>

■環境活動団体のご紹介

・カタクリの会（西和賀町川尻）

カタクリの会は西和賀地域で自然観察会を行いながら、多くの人達に自然保護の大切さを伝える活動を続けています。

西和賀町は奥羽山脈の真ん中に位置し、和賀山塊の主峰、和賀岳（1,439m）より発する和賀川では鮎釣りや溪流釣りなども楽しめ、ブナの原生林、カタクリの自生群、滝など里山の豊かな自然が数多く溢れる地域です。自然観察会では、この西和賀のフィールド全体を使い、四季折々の自然が織りなす物語を楽しみながら学ぶことができます。

「自然の仕組みを知らない、見たこともない人ばかりでは自然を守ることはできない。まずたくさんの人に足元を見てもらうこと、観察会から始めよう。」という趣旨のもと、1991年から開始した観察会は、今では年間300名程の参加者があり、これまで9,000名超の方々に、西和賀の豊かな自然を紹介することが出来ました。

ー代表の瀬川強さんー

日本自然保護協会自然観察指導員、日本野鳥の会会員、写真家としても知られ、著書は「イーハートープ フォト心象スケッチ」「奥羽の自然 西和賀大地」など多数。

サラリーマン時代からブナ林を守る活動など、自然保護に高い関心を持つように。その頃訪れた西和賀町で、一面に咲くカタクリの群生と運命の出会いがあり、すっかり魅せられてしまった瀬川さんは1987年に仕事を辞め西和賀に移住。以来、奥様の陽子さんと二人三脚で本格的な自然保護活動を行っています。



燃えるような西和賀の紅葉



豪雪地帯の西和賀では一晩に1m超の積雪も



代表の瀬川さんと奥様の陽子さん

連絡先 代表 瀬川 強 TEL・FAX: 0197-82-3601

URL <http://www.todoland.co.jp/waga/katakuri-kai.html>

・特定非営利活動法人 岩手県環境カウンセラー協議会（北上市相去町）

岩手県在住の環境カウンセラー¹⁾登録者有志により1999年、釜石市で岩手県環境カウンセラー協議会として発足し、2001年にはNPOの法人認定を受けました。

当協議会には環境保全に関する豊富な知識や経験を持つ人材が多数在席し、環境保全活動に取り組もうとする市民や事業者へのカウンセリングや、セミナー等の啓発事業を行っています。

特に、事業者部門においては、環境省が策定した環境マネジメントシステム「エコアクション21」²⁾の地域事務局として認定され、岩手、青森、秋田の北東北3県の認証・登録、普及業務を行う他、環境マネジメントシステム作成時の個別アドバイス等も行っています。

エコアクション21の認定を通して感じることは、企業の環境取組において、法令遵守は基本中の基本、その次の段階にどう踏み込んでいくか、トップの考え方が非常に重要であり、一歩先の環境取組を推進していくのが当協議会の役割と考えています。

持続可能な社会の実現のため、ものづくりと環境の両立や、これまでに日本が取り組んで

きた「大気汚染」「水質汚濁」を解決する技術の輸出、温暖化とのアダプテーション（適応）、自然との共生等、取り組みたいテーマが多くあります。NPOによる活動は、将来的には第二の公務員的存在として公共を担いうるものと捉え、長い視点で活動を継続し、効果を出していければと思っています。

1) 環境保全に関する豊富な経験や専門的知識を有し、その経験や知見に基づき、市民・NGO・事業者などの行う環境保全活動に対し助言などを行う人材として、環境省による登録を受けた方々です。

2) エコアクション21は、環境省が策定した企業・学校・公共機関等の全ての事業所が環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的とした環境マネジメントシステム。



被災地支援の取り組みとして、セブンイレブン記念財団から提供いただいた花苗、球根を大槌町の仮設小学校花壇に植栽しています。

連絡先 理事長 林 俊春 TEL:0197-62-4147、URL <http://www.ieca.jp/>

■イベント情報

企業よりー環境コミュニケーション報告会のお知らせー

地域に向けて環境保全に関する取り組みの紹介、環境関連施設の見学などを中心とした環境報告会を開催します。県内企業の環境取組をこの機会にぜひ見学してみませんか？

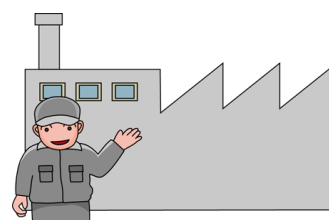
・「株式会社デジアイズ平成 26 年環境報告会」

日 時：平成26年12月24日(水) 10:00:~13:00

会 場：(株)デジアイズ会議室（奥州市前沢区字高畑31）

申込み：デジアイズ総務課 黒瀧、渡辺、菊地

(0197-56-2010)まで。申込み締め切り12月15日



環境団体より

・「奥羽自然観察会」

奥羽自然観察会は毎月 1 回開催。子供から大人まで無理なく観察できるコースを設定し、自然観察指導員が同行ガイドします。冬から始まる西和賀の自然を観察してみませんか？

申込み：カタクリの会 瀬川 (0197-82-3601) まで。一カ月前から予約可能です♪

県・振興局より

・平成 26 年度「県南広域振興局環境大賞」募集のお知らせ

県南広域振興局では、地域の環境保全機運の醸成、環境取組における連携、協働の推進を目指し、管内事業所が取り組む模範的な環境活動を表彰します。自薦他薦を問いません。我こそは、という企業の皆様、奮ってご応募下さい!!

対 象：県南地域に事業所を置く企業、個人事業者

表 彰：大賞 1、準大賞 2（平成 27 年 3 月に開催する環境セミナーで表彰します）

募集期間：平成 26 年 12 月 8 日～平成 27 年 1 月 30 日

応 募 先：県南広域振興局保健福祉環境部（担当 環境衛生課伊藤）

応募詳細は→<http://www.pref.iwate.jp/kennan/hoken/kankyo/031181.html>

■環境これナニ情報

*****近頃注目の大気汚染物質—PM_{2.5}—*****

例年、冬から春にかけては、自動車などの交通量の増加や暖房器具の使用に加え、気象条件等により、大気汚染物質の濃度が高くなる傾向があります。

最近注目の微小粒子状物質（PM_{2.5}）は、直径2.5μm（髪の毛の太さの1/30程度の大きさ）以下の小さな粒子からなる大気汚染物質で、燃烧などによる人為起源のものと、火山や黄砂など自然起源のものがあるとされています。

これまで、人の健康保護のため、基準が設けられてきた浮遊粒子状物質（SPM：10μm以下の粒子）に比べて肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系だけでなく、循環器系への影響も懸念されるため、平成21年に環境基準が設定されました。

国内におけるSPMやPM_{2.5}の大気中濃度は、大気汚染防止法に基づく工場・事業場等のばい煙発生施設の規制や自動車排出ガス規制などにより、減少傾向にありますが、我が国の大気中に通常観測される物質です。

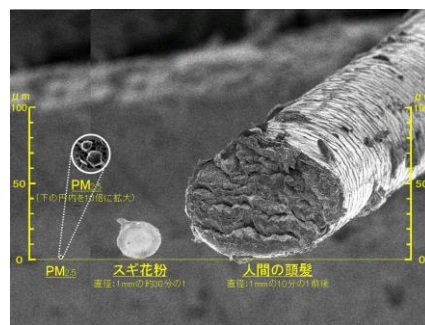
平成25年1月に中国の北京市を中心に、PM_{2.5}による大規模な大気汚染が断続的に発生し、国内でも一時的にPM_{2.5}の濃度上昇が観測されたため、一気に関心が集まりましたが、様々な観測値や、国の研究機関によるシミュレーションの結果、この時の濃度上昇は大陸からの越境汚染と国内の都市汚染の影響が複合した可能性が高いとされています。

県では、奥州市、花巻市を含む県内7か所でPM_{2.5}の観測を行っており、リアルタイムで測定結果を公表するほか、PM_{2.5}の日平均値が1立方メートルあたり70μgを超えると予測される場合は注意喚起情報を発令*しています。

<http://www.pref.iwate.jp/kankyuu/hozen/taiki/O21845.html>

12月は大気汚染防止推進月間です。ウォームビズやエコドライブを心掛け、燃料の使用量を削減し、大気環境にやさしい生活をしてみませんか？

*70μgを超える場合、不要不急の外出や屋外での長時間の激しい運動をできるだけ減らすよう勧めています。



出典 東京都環境局 HP

発行：県南広域振興局保健福祉環境部【環境衛生課 伊藤】、NPO法人奥州・いわてNPOネット
ご意見・ご要望・取り上げて欲しい情報などありましたら、下記連絡先まで！！

TEL 0197-22-2831（内線280） FAX 0197-22-4106 メールアドレス BD0003@pref.iwate.jp